

「がん進展制御研究所セミナー」を開催

2016年8月2日

8月2日（火）に、がん進展制御研究所4階会議室において、京都大学大学院 医学研究科 腫瘍生物学講座 教授 小川 誠司 先生を招いて、がん進展制御研究所セミナーを開催しました。

セミナーでは「A Unique mechanism of cancer immune evasion」という演題で固形腫瘍における遺伝子異常の網羅的解析と最新の研究について講演をしていただきました。

セミナーには、研究所内外の教職員、大学院生等約50名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



A Unique mechanism of cancer immune evasion

講演者

京都大学大学院 医学研究科
腫瘍生物学講座 教授
小川 誠司 先生

日時: 平成28年8月2日(火) 17:00~18:30

場所: 金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室

小川先生は、がんの網羅的なゲノミクスやインフォーマティクスの第一人者です。最近では、画期的な抗体治療が進んでいる、“PD1”のリガンドであるPD-L1遺伝子の3'領域に共通して生じる構造異常によって引き起こされる免疫回避のユニークな遺伝学的機構を報告しました (*Nature*, 2016)。

このユニークな構造異常は、多くのヒトがん種で認められており、この異常が抗腫瘍免疫を積極的に回避しているがんを同定するための遺伝学的マーカーとなる可能性も示唆されました。今回、小川先生には最新の研究結果も含めて、ご講演をお願いしました。皆様奮ってご参加下さい。